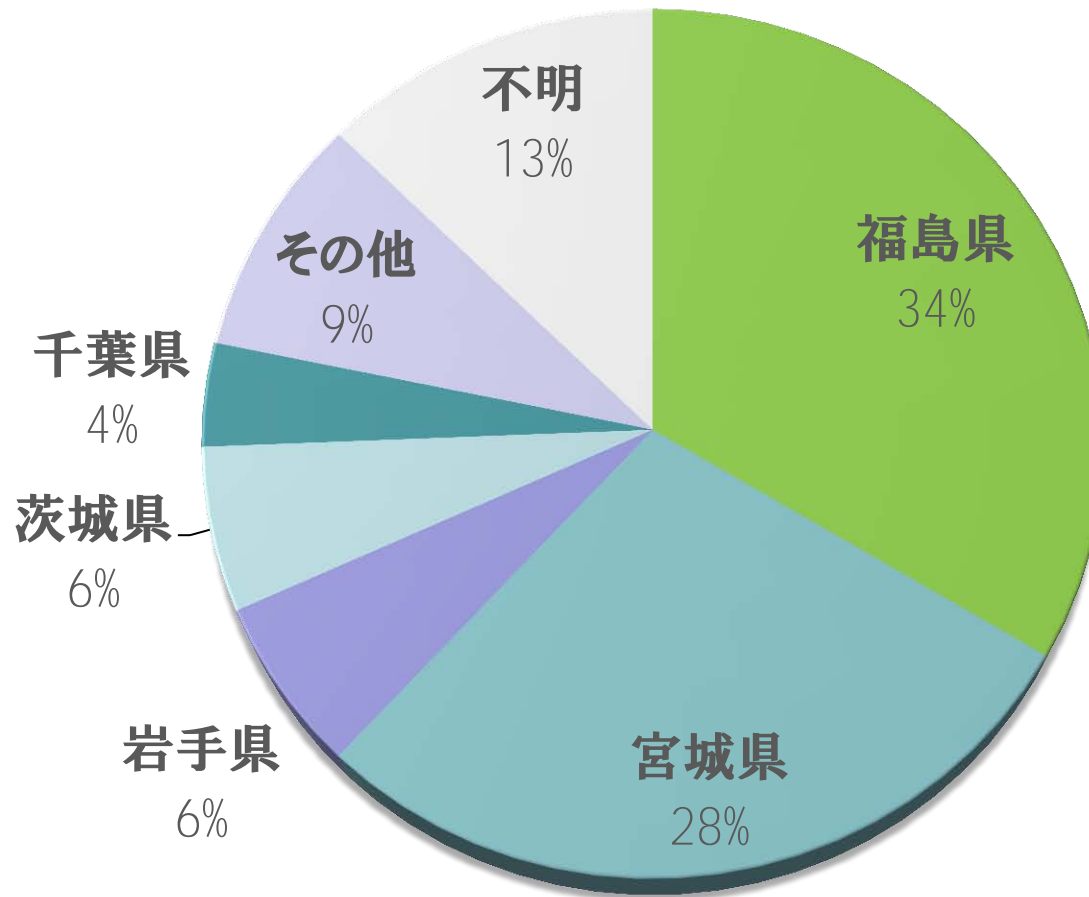


## 7-5. 7月～2月被災地別相談件数



## 7-6. 相談内容から考えられること

- 相談は多岐にわたり深刻なものが多く、中でも、**災害を期に以前の精神疾患が再発もしくは悪化した**方の割合が多い。
- 相談者がご自身の **疾患に言及した割合は29.2%**（うつが最も多く、以下PTSD、アダルトチルドレン(AC)、統合失調症、非定形精神病）。実際の有病率はこの数値より高いと考えられる。
- 相談内容は震災後半年以降は、**避難生活のつらさ、生活再建、将来の不安**といった相談が増えた。その他の項目中では、被災後避難生活を送る、あるいは被災した家族を遠隔地の家族が受け入れる中で**家族関係に軋轢が生じているケースが増えてきている**。
- 相談員は現在の状況や緊急性、ニーズ、病態水準をアセスメントしながら、傾聴や明確化といった心理的対応、情報提供、相談機関の紹介等を行い、利用者が「かけてよかった」と終われるよう心がけている。

## 8. 被災者支援のひとつの形

### 仮設住宅の憩いの場を提供

- ころの支援はニーズの把握が難しい
- 被災者の自尊心を傷つけない支援が必要
- 被災者同士のコミュニケーションを尊重
- 安全で安心な会話の空間を提供
- 継続できる形に

## 8-2. 仮設住宅 南三陸町平成の森



## 8-3. 開かれた空間のカフェ

